

平成26年度 加茂市・南蒲原郡社会科部 活動報告

部長 笠原 崇

1 研究主題 「郷土史理解を深めるための実地研修」

2 研究の概要

- (1) 期 日 平成26年8月26日(火)
- (2) 会 場 加茂市立若宮中学校
- (3) 参加者 社会科部員15名(小学校8名、中学校7名)
- (4) 内 容 講演会 演題 「加茂市の遺跡」
講師 加茂市社会教育課
課長補佐兼係長事務取扱 伊藤 秀和 様

3 研究の実際

実際の写真などの資料を基にして、加茂市にある遺跡を1つ1つ丁寧に説明していただいた。そして、時代ごとに見られる加茂市の遺跡の特徴を説明していただいた。

○旧石器時代～縄文時代

- ・七谷地区(山間部)に古い遺跡が多い。
- ・当時の七谷地区には、狩猟、漁労、採集生活をしやすい地理的環境があったと考えられる。



○古墳時代～平安時代

- ・加茂川、下条川下流の平野部に多くの遺跡がある。七谷地区に遺跡は見られない。
- ・当時の人々が、平野部へ移動し米作りを行ったと考えられる。

○鎌倉時代～安土桃山時代

- ・山の上に山城が多く築かれている。むらむらで、戦いの備えをしたと考えられる。

4 成果と課題

加茂市にある遺跡について講演していただいたことは、加茂市の歴史についての理解を深めるよい機会となった。加茂市民俗資料館に展示されている遺物も紹介していただき、歴史学習の教材作りのヒントを与えていただく機会ともなった。

地域素材を活用し、体験的・問題解決的な歴史学習を展開していきたい。